

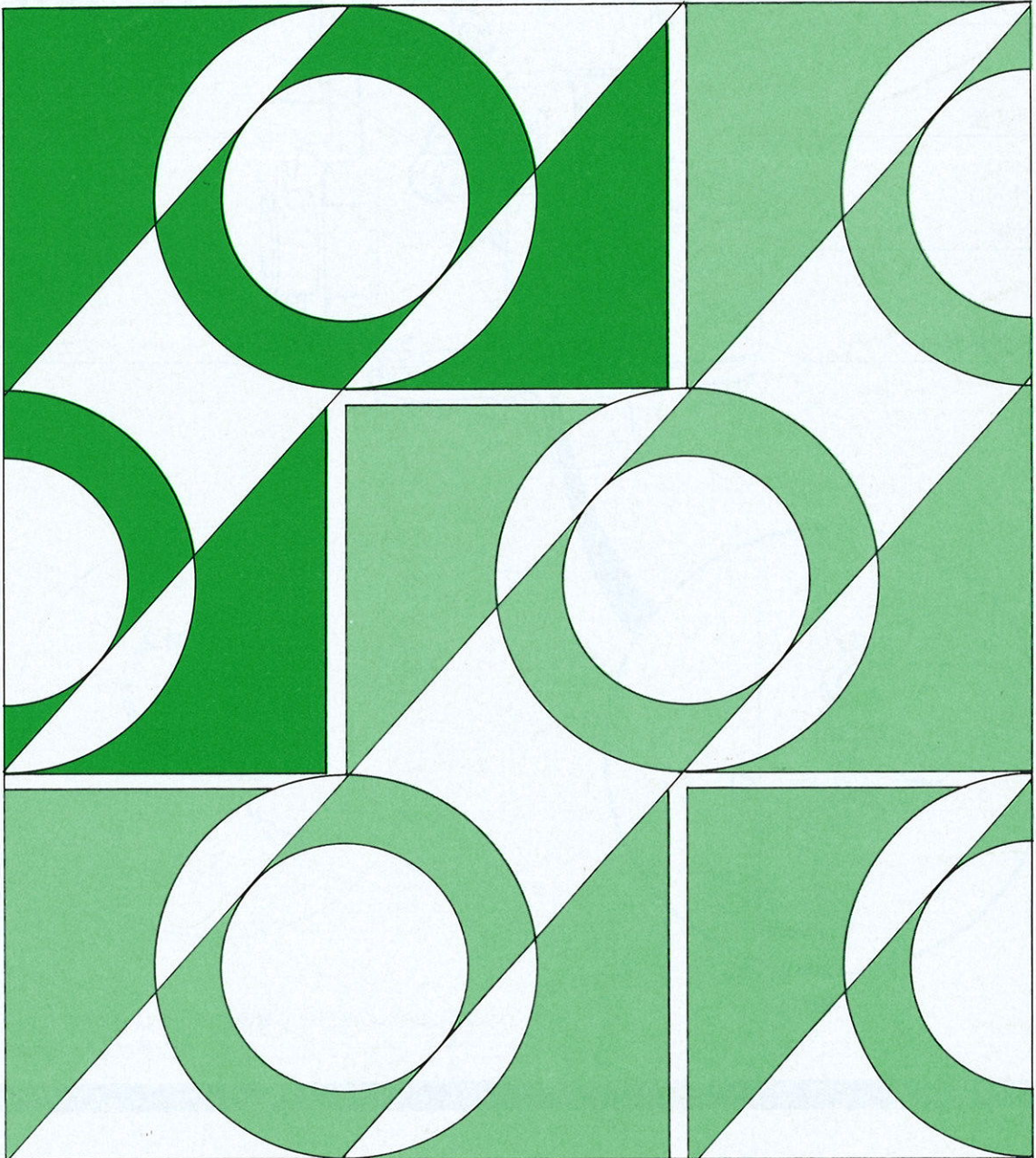
ベビーロック

1本針2本糸ロックミシン

(照明ライト付)

ご使用のてびき

株式会社 **ジューキ**



取手型糸案内

糸立棒

照明ライト

針糸調子器

上メス

ルーパー糸調子器

押え金

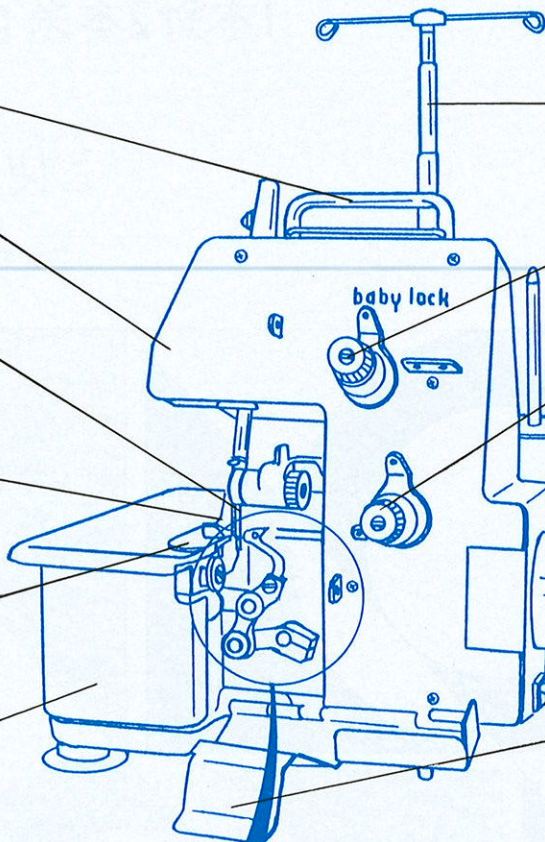
はずみ車

針板

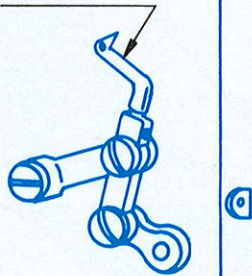
照明スイッチ

下側面カバー

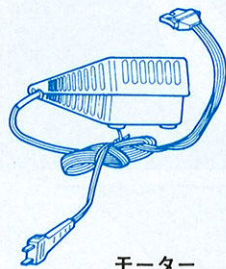
メスカバー



ルーパー



ルーパー部詳細図



モーター
コントローラー

※安全のため使用後は電源プラグを抜いて下さい。
また、コントローラーの上に物を載せないでください。

はじめに

このたびは、ベビーロックをお買上げいただきまして、ありがとうございます。このロックミシンを最も有効に末永くお使いいただくために、この手引きをお役だてください。

目次

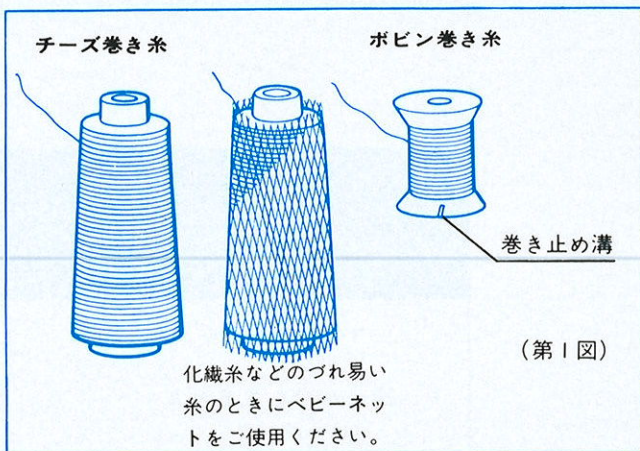
1. 縁かがりをするとき	1
1-1. 糸のかけ方	1
1-2. 縫いについて	3
2. 糸調子のとり方	4
2-1. 縫い目調子のとり方	4
3. 押え圧力について	5
4. 送り目の調節について	5
5. 縫い速度について	6
6. 針のとりつけ方	6
7. メスの交換について	7
8. 注油について	8
9. 点検と調整について	8
10. 照明ライトの点灯と取付	9
11. カーボンブラシの交換について	9
12. 梱包明細	10
13. 仕様表	11
14. 布地と糸の関連表	12

1 縁かがりをするとき

1-1 糸のかけ方

① 糸巻きのセット

このミシンには普通チーズ巻きの糸を使いますが、ポビン巻き糸もお使いになれます。この場合は、糸の巻き止め溝を下にしてセットしてください。



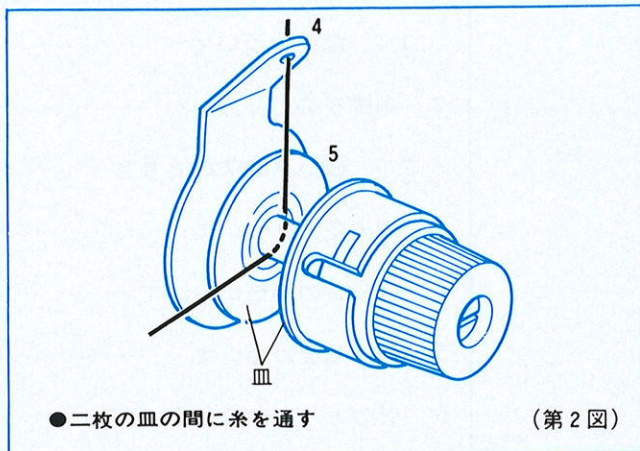
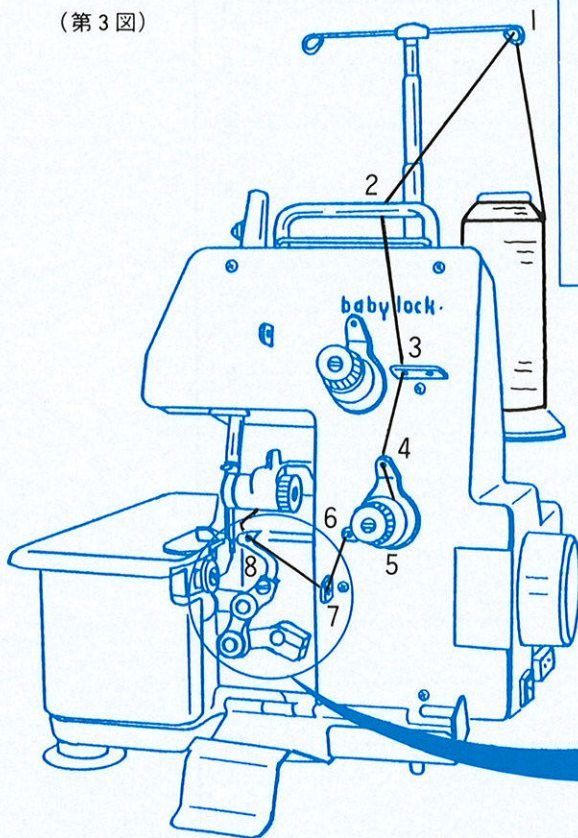
(第1図)

② ルーパー糸のかけ方

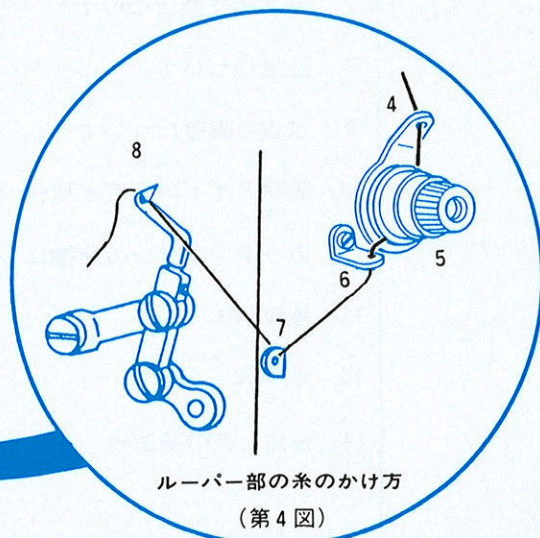
先ず「第5図」のように、メスカバー台を開きます。次に「第3図」「第4図」のように、順次糸を通してください。糸通しが終わったらメスカバー台は閉めてください。

ルーパー糸は押え金の下から約10cmひきだしておきます。

(第3図)

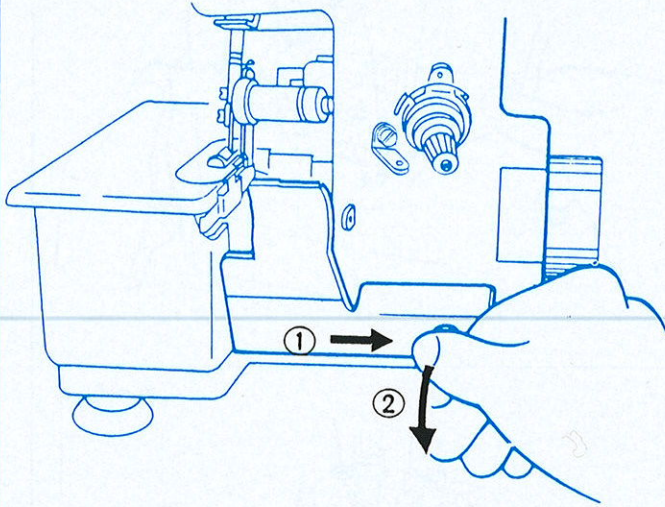


(第2図)



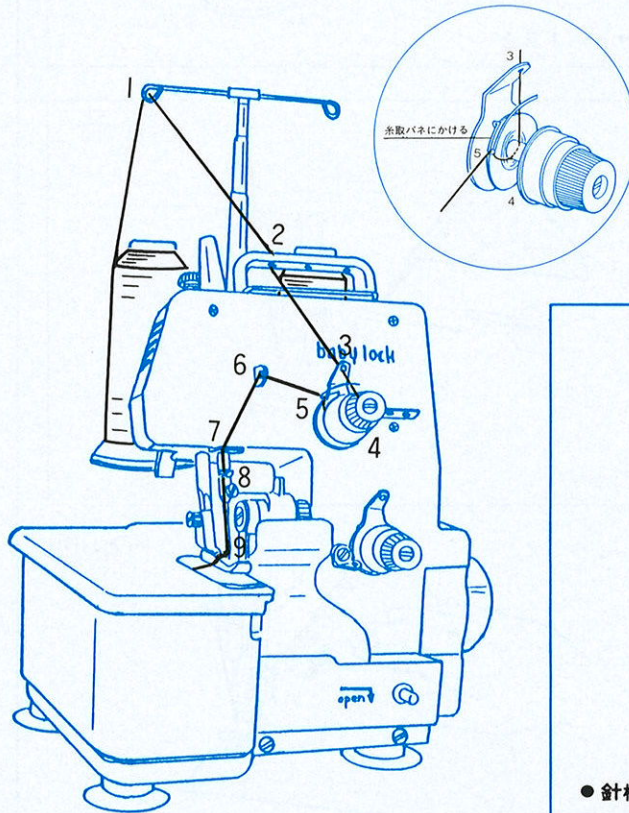
(第4図)

(第5図)



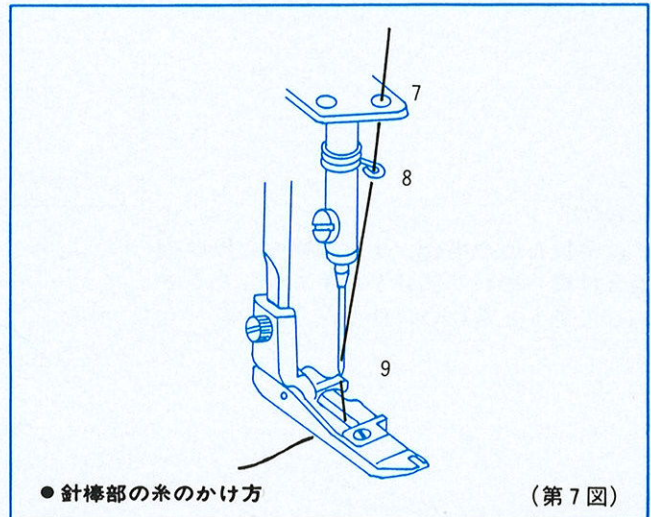
ツマミを右に引いてから手前に倒してください。

(第6図)



④ 針糸のかけ方

「第6図」「第7図」のように順次通してください。針穴には、手前から向こう側に通して、糸を押え金の下から約10cmひきだしておきます。

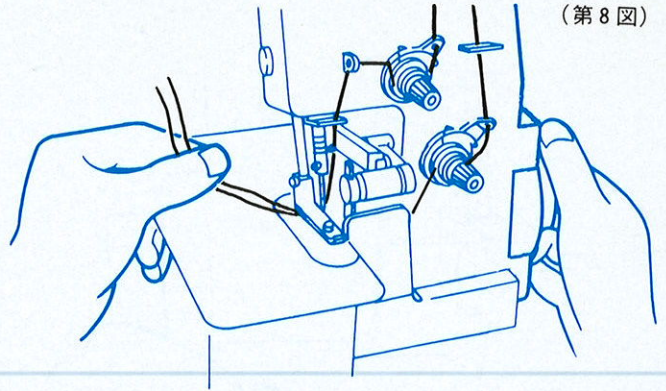


● 針棒部の糸のかけ方

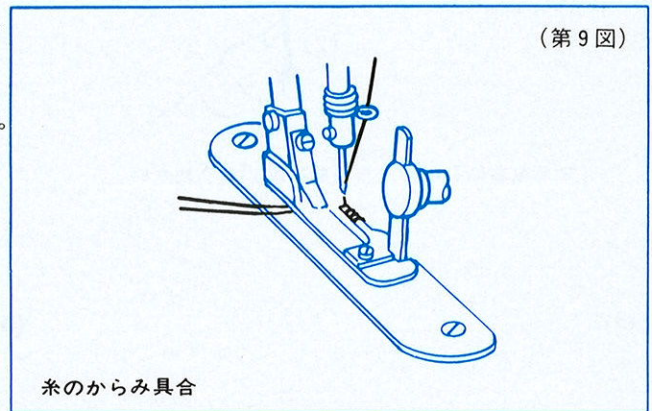
(第7図)

1-2 縫いについて

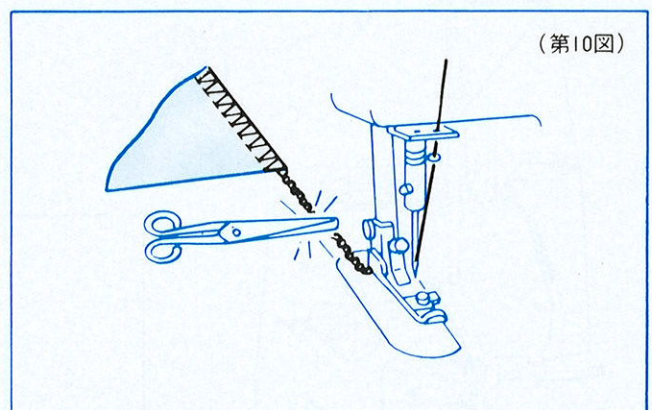
- ①糸かけの終わった針糸とルーバー糸の両端を「第8図」のように左手指で少し張りぎみにつまみ右手ではずみ車を回して両糸のからみぐあいを確かめ、それから布地をセットして縫いをはじめてください。



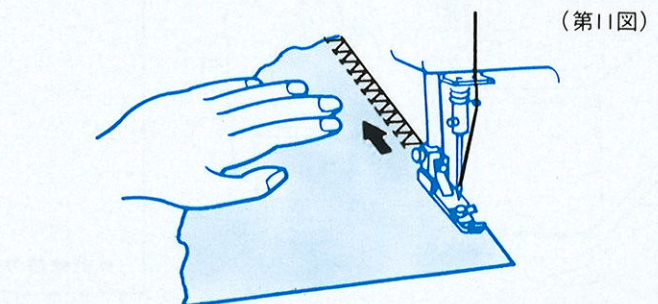
- ②針糸とルーバー糸のバランスが悪いと布地にしわができたり、縫い目が不揃いになることがあります。
「糸調子のとり方」の項を参照してください。



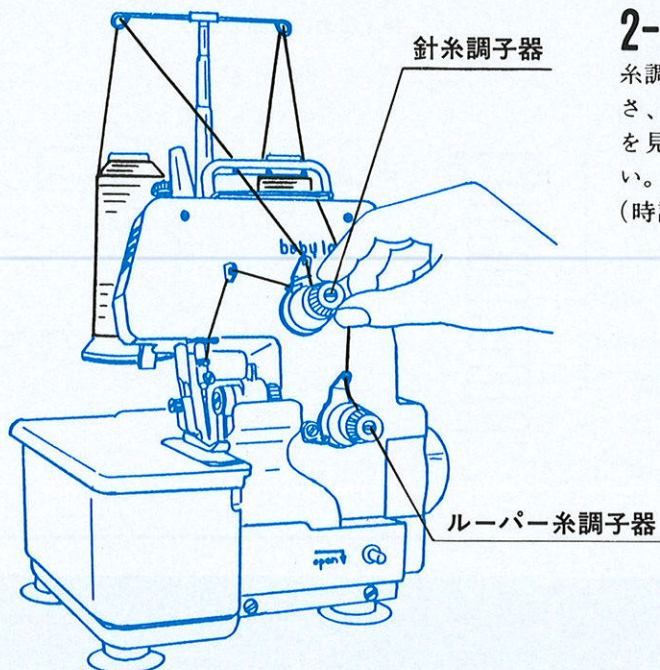
- ③縫い終わりは、「第10図」のように布地の端から空縫いを2cm～5cm長くとり、切断してください。



とくに薄物布地の場合、また編物など極厚物の場合は縫い終わり部分を左手で少しひきぎみにして縫うときれいに仕上がります。



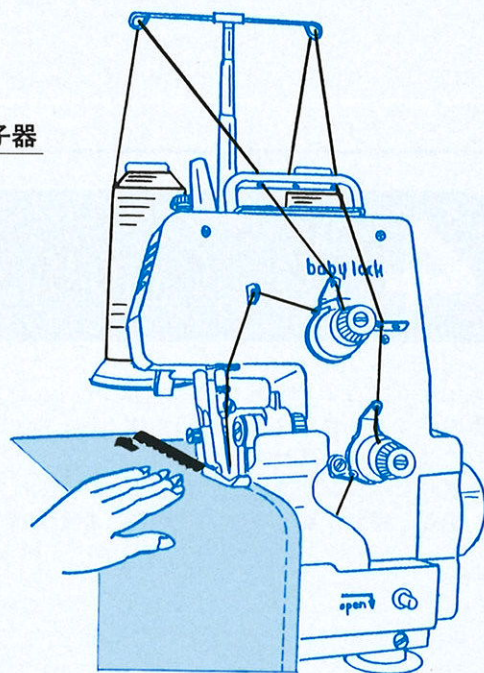
2 糸調子のとり方



2-1 縫い目調子のとり方

糸調子のとり方は、布地の種類や使用糸の太さ、種類によって違います。そのつど縫い目を見ながら上下の糸調子器で調節してください。

(時計方向に回すと、糸調子は強くなります)



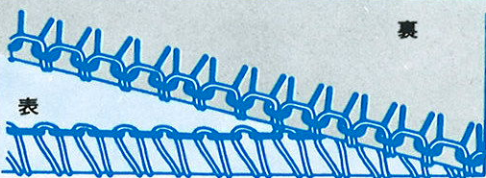
(第13図)

(A) ルーパー糸(表糸)が強すぎる場合



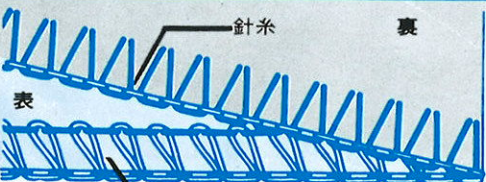
(第14図)

(B) 針糸(裏糸)が強すぎる場合



(第15図)

(C) 美しいかがり目

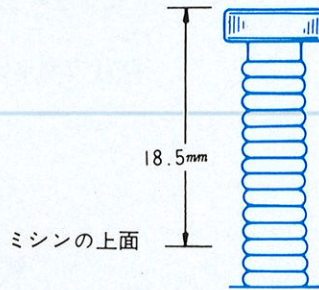


(第16図)

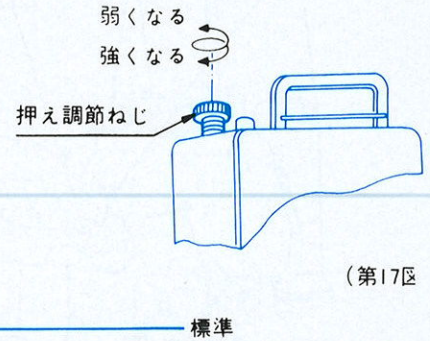
- ① ルーパー糸(表糸)が強すぎる場合「第14図」は、ルーパー糸調子器をゆるめてください。
 - ② 針糸(裏糸)が強すぎる場合「第15図」は、針糸調子器をゆるめてください。
- 「第16図」の状態になれば完全です。

3 押え圧力について

このミシンは、すでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物、極厚物の場合のみ調節してください。薄い生地には押え圧力を弱く厚い生地には押え圧力を強くします。



押え圧力の調節の仕方



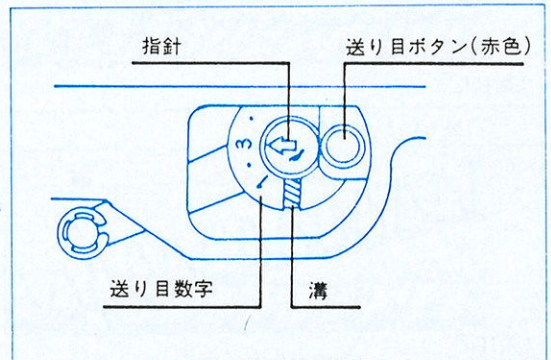
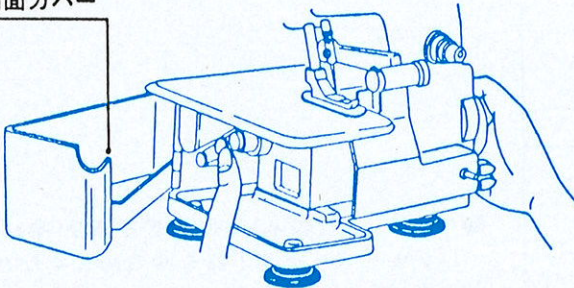
(第18図)

4 送り目の調節について

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

- ① 左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入るまで、右手ではずみ車を回す。
- ② 送り目ボタンが溝に入ったまま(送り目ボタンを押し続けた状態で)、再び、はずみ車を回わすと、指針が動きます。この時、指針を希望の送り数字に合わせる。

下側面カバー



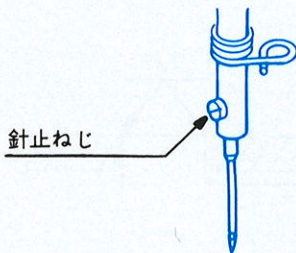
5 縫い速度について

このミシンは、ペダルを深く踏むと回転は速くなり、また浅く踏むと回転は遅くなります。コントローラーの踏み加減で速度を決めてお使いください。

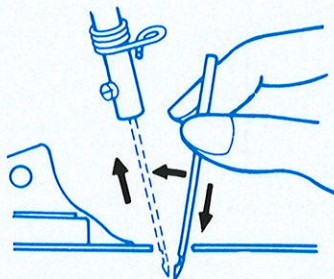
6 針のとりつけ方

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

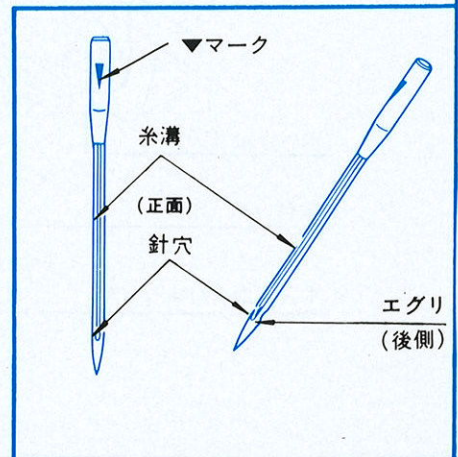
- ①はずみ車を矢印方向に回らし、針を一番上にあげる。
 - ②針止ネジをゆるめて、針を取り外す。
 - ③付属の新しい針の赤▼マークを必ず手前（エグリのある方は後側）にして、針棒穴の一番奥まで差し込み、針の向きが狂わないように手で押え、針止ネジを固く締める。
- ※尚、市販でお求めになったBL×1針には、この▼マークがありません。従って市販針を取り付ける場合は、必ずエグリのある方を後側（向こう側）にして下さい。



(第21図)



(第22図)



7 メスの交換について

(交換方法)

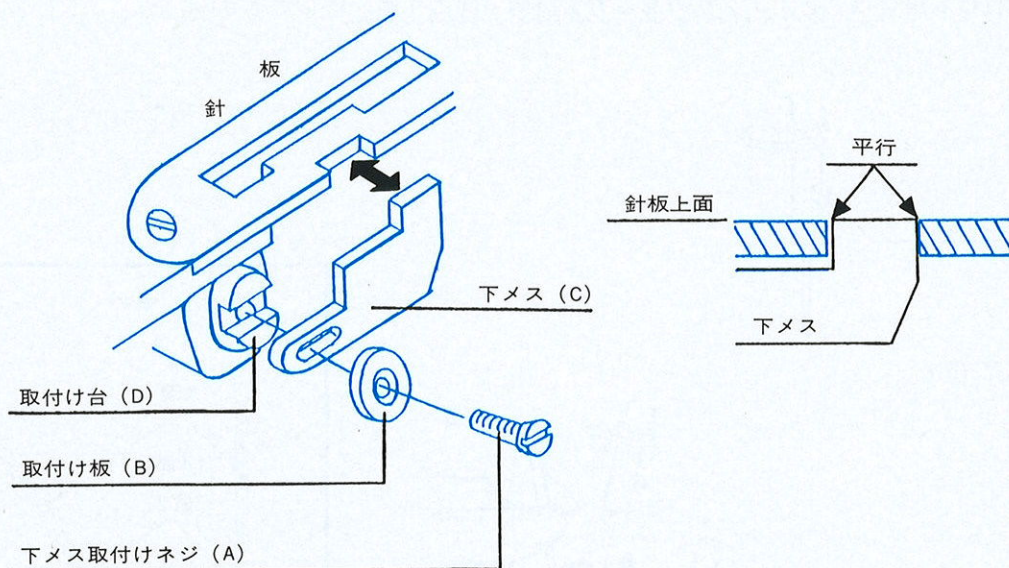
はじめに必ず電源プラグを抜いてから、作業して下さい。

メスが切れなくなったら、下メスを交換して下さい。

上メスは長寿命の特殊素材でできていますので、交換の必要はありません。

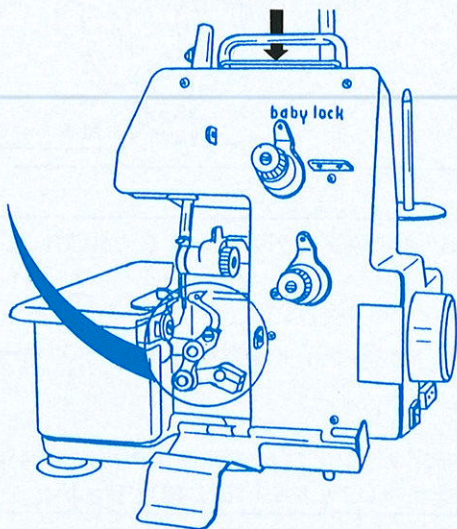
- ①メスカバーを開けます。
- ②はずみ車を廻らし、上メスを最上点の位置にし上メスを上に回転させて下さい。
- ③下メス取付けネジ (A) を、左廻わしで取りはずし、取付け板 (B) も一緒にはずします。
- ④下メス (C) を、取付け台 (D) からはずします。
- ⑤新しい下メスを、取付け台 (D) に取付けます。
- ⑥取付け板 (B) をあてがい、下メス取付けネジ (A) を右廻わしで取付けます。

※この時、下メスの刃部が針板上面と平行になるよう取付けます。



8 注油について

この箇所は20~30
滴注油して下さい。



このミシンの大切な個所には、すべて特殊な材料（含油メタル）を用いておりますが、図に示したような赤印のついている個所に定期的に1~2滴注油してください。

9 点検と調整について

このベビーロックは、むずかしい専門的な調整をしないですむように設計されています。つぎのような5つの例は、基本的な調整ができていないときに起りやすい故障ですから、よく覚えておいてください。

A) ミシンが動かないとき

- コードをちゃんと差しこんでありますか。
- モーターの取付位置がズレていませんか。
- ベルトがゆるいものではありませんか。

B) 糸が切れるとき

- 糸かけは正しいですか。
- 糸調子が強すぎませんか。
- 針は曲っていませんか。
- 押えの強さは適当ですか。
- 糸の種類はどうですか。
- 針の取り付け方が、まちがっていませんか。

C) 針が折れるとき

- 針が、針板や押えにぶつかっていませんか。
- 針の取り付け方が、まちがっていませんか。

D) 目とびするとき

- 針が曲がっていたり、針先がすり減ったりしていませんか。
- 針を正しく取りつけましたか。
- 糸のかけ方が、まちがっていませんか。
- 押えが弱いものではありませんか。

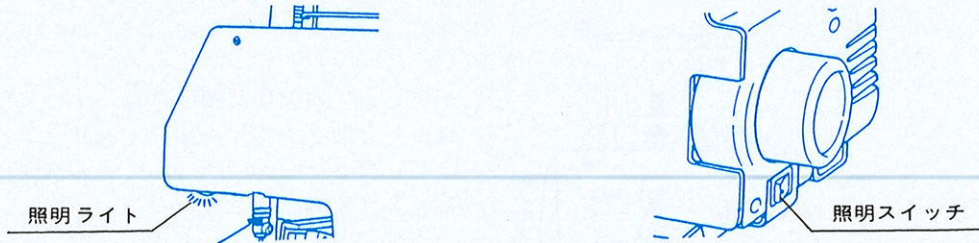
E) 縫い目の調子が悪いとき

- 上糸、下糸の張力調整は、じゅうぶんですか。
- 糸のかけ方は正しいですか。

10 照明ライトの点灯と取付

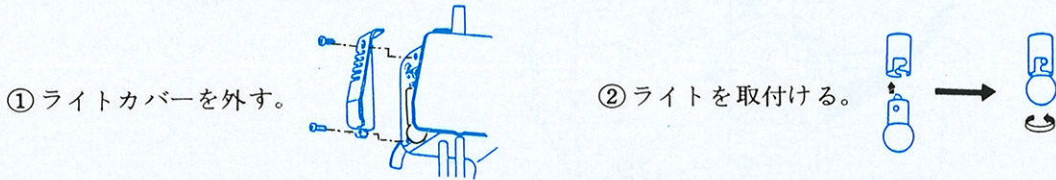
10-1 照明ライトの点灯

はずみ車の下にある照明スイッチを押すと、本体左側面の照明ライトが点灯します。



10-2 照明ライトの取付

ライトが切れ、新しいライトを取付ける場合、必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。



※尚、ライトは最寄りのガソリンスタンド、カーショップ、ベビーロック取扱店でお求めになれます。ご購入の際は、古いライトを持参し、同一のライト(12V 6W)とご指定下さい。

11 カーボンブラシの交換について

このミシンに使用しておりますモーターにはカーボンブラシが2個(2カ所)取付けてあります。長期間お使い頂くと、摩耗しますので、図のようにカーボンブラシを交換してください。

A) 交換の時期

摩耗によってブラシ部分が〈カーボンブラシ図〉の様に短くなったら、交換して下さい。

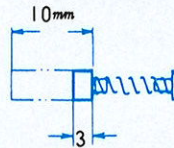
B) 交換の方法

最初にモーターを取り外します。次に〈モーター図〉のブラシキャップを各々取外し新しいブラシと交換してください。

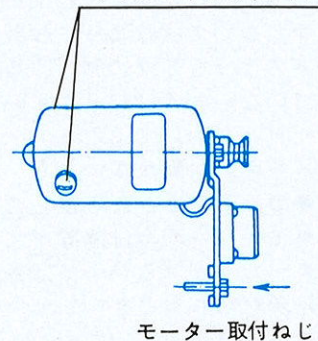
〔注意〕

摩耗したブラシを、そのまま使っていると、モーターから火花が出たり、又モーター故障の原因になりますから、ご注意ください。

カーボンブラシ図



ブラシキャップ(2ヶ)



※摩耗により図の様にブラシ部分が3%程度になりましたら交換してください。

※カーボンブラシの購入先
ミシン店又は、電気器具店でお求めください。

12 梱包明細

1. ミシン(モーター付)
2. コントローラーセット
3. ご使用のてびき
4. 保証書
5. アクセサリーケース

ドライバー (マイナス用)
針 BL×1
ピンセット
ベビーネット

13 仕様表

基本項目	仕様
かがり巾	4 m/m (縁かがり巾)
縫い目(送り目)	1 ~ 5 m/m
針棒ストローク	24 m/m
メス上下量	6.5 m/m
押え上り量	4 m/m
送り歯高さ	0.7 m/m (標準)
使用針	BL×1 #11 #14
使用糸本数	2本
給油方式	油芯装置付手差方式
照明ライト	12V 6W
ミシンの大きさ	タテ250 m/m ヨコ250 m/m 高さ260 m/m
ミシンの重さ	6.5 kg(モーター付完成品)

※都合により使用書の内容を一部変更する場合があります。

14 布地と糸の関連表

	布 地 の 種 類	糸	針
木綿麻	〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など	テトロン #100 スパン #90~80	BL #11
	〔厚地〕 オックスフォード、デニム、キルディング、ギャバジンなど	スパン #90~60 綿 #80~60	BL #11 #14
絹	デシン、クレープ、オーガージー、サテンなど	絹 #100 テトロン #100	BL #11
毛	〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリンなど	スパン #90 綿 #80 テトロン #80	BL #11
	〔普通地〕 サージ、ギャバジン、フラノなど	スパン #90~60 テトロン #80~60 絹 #50	BL #11 #14
	〔厚地〕 ベロア、キャメル、アストカンなど	スパン #60 綿 #60~50 テトロン #60~50 絹 #50	BL #14
化繊混紡	〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど	スパン #90 テトロン #100	BL #11
	〔厚地〕 タフタ、ツイル、ベネシャンなど	スパン #90~60 テトロン #60	BL #11 #14
ニット	トリコット（化繊、合繊）	スパン #90 テトロン #80~60	BL #11
	ジャージ（化繊、合繊）	スパン #60 テトロン #60 ウーリー糸(ナイロン、テトロン)	BL #11 #14
	毛糸	スパン #80~60 テトロン #60~50 ウーリーナイロン ウーリーテトロン 極細毛糸	BL #14

株式会社 **ジューキ**

本社 東京都中央区八重洲2-7-2(八重洲三井ビル)
TEL (03) 272-2851(代表)

札幌011(737)6821 仙台022(239)3705 新潟0250(43)4451 足利0284(41)5567
東京03(265)8741 静岡0542(82)2951 名古屋052(962)7631
大阪 06(768)3651 倉敷0864(73)0355 広島082(227)5781 福岡0942(44)7921



